

問1 タイの輸出構造の変化について、1980年代には米や天然ゴム、すずといった農産物や鉱産資源が輸出額の上位を占めていましたが、近年の統計では輸出品目が大きく変化しています。現在のタイにおいて、輸出額の割合で上位を占めている品目の組み合わせとして最も適切なものを選択してください。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 機械類や自動車                      2. 米や衣類                      3. 天然ゴムやパーム油                      4. 原油や鉄鋼

問2 東南アジアのある国では、1990年代末には原油などの資源が輸出の中心でしたが、近年では輸出総額の約4割以上を機械類が占めるようになってきました。このような産業構造の変化をもたらした背景として、日本企業の進出を促した現地の要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 福岡公立入試 類似）

1. 日本と比較して1か月あたりの平均賃金が極めて低く、安価で豊富な労働力を活用できたこと。                      2. 原油の産出量が急激に増加し、燃料としての輸出だけでなく精製技術による工業化が進んだこと。                      3. 日本企業の進出が減少したこと、自国の資本のみによる伝統的な軽工業が急速に発展したこと。                      4. 農業の機械化が徹底された結果、米や天然ゴムなどの農作物の輸出割合が以前よりも大幅に高まったこと。

問3 現代のインドにおいて、英語が広く普及していることが経済発展に与えた影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 奈良公立入試 類似）

1. 英語が堪能な人材が多いため、アメリカなどの企業からソフトウェア開発などのIT業務を受託しやすくなった。                      2. 国内のすべての教科書を英語に統一したことで、識字率が短期間で100%に達した。                      3. 英語以外の伝統的な言語がすべて廃止されたため、国内の民族対立が完全に解消された。                      4. 英語を話す観光客を呼び込むために、農村部のすべての農作業が英語で行われるようになった。

問4 中国において1970年代末から2015年まで実施された、急激な人口増加を抑えるための「一人っ子政策」と、その後の社会状況について述べた文として、最も適切なものを選択しなさい。（2020年 山口公立入試 類似）

1. 人口の抑制には成功したが、現在は急速な少子高齢化が進み、将来の労働力不足が課題となっている。                      2. 人口抑制の効果がほとんど見られなかったため、現在も都市部に限って継続されている。                      3. 経済特区での労働力を確保するために、農村部から都市部への移住を強制的に制限する制度であった。                      4. 外国企業の誘致を目的として、都市部の家庭に子どもを一人にするよう義務付けた制度である。

問5 現代社会において主要なエネルギー源であるだけでなく、プラスチックなどの化学工業製品の原料としても広く利用されている液体状の鉱産資源があります。2013年の統計において、ロシアが世界全体の13.5%、サウジアラビアが13.0%、アメリカ合衆国が10.0%の生産量を占めているこの資源は何ですか。（2018年 香川公立入試 類似）

1. 原油（石油）                      2. 石炭                      3. 鉄鉱石                      4. 天然ガス

問6 アジアの諸地域のうち、タイ、インドネシア、ベトナムなどの国々が含まれる地域に該当するものを次の中から選びなさい。

（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 東南アジア                      2. 南アジア                      3. 中央アジア                      4. 東アジア

問7 北緯30度から45度の範囲には、日本の本州の大部分が含まれます。世界地図において、この日本と同じ緯度帯に位置する国のうち、アジア大陸の西端にあり、ヨーロッパとアジアの両方の文化が混ざり合う「結節点」としての役割を果たしている国を選びなさい。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. トルコ                      2. エジプト                      3. アメリカ合衆国                      4. オーストラリア

問8 西アジアの産油国では、乾燥帯という厳しい自然環境にありながら、急速な近代化を成し遂げた国々が多く見られます。これらの国々が近代的な都市開発を進めることができた背景と、その具体例として最も適切な説明はどれですか。（2023年 高知公立入試 類似）

1. 油田から産出される原油や石油製品の輸出で得た多額の利益を背景に、ドバイのように砂漠の中に高層ビルが立ち並ぶ都市を建設した。                      2. カスピ海東部の広大な草原地帯における小麦の輸出利益を背景に、中央アジア諸国と連携した大規模な工業地帯を整備した。                      3. 地中海沿岸の温暖な気候を利用した観光業の収益を背景に、アフリカ北部の砂漠地帯で最新の農業プラントを建設した。                      4. 南アメリカの産油国と協力して得たバイオ燃料の利益を背景に、熱帯雨林の跡地に世界最大規模の商業都市を建設した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 機械類や自動車	タイでは1980年代まで、米や天然ゴムなどの農産物、および「すず」などの鉱産資源（一次産品）が輸出の中心でした。しかし、その後の急速な工業化により、外国企業の工場進出などが相次いだ結果、輸出構造は大きく変化しました。2018年の統計では、機械類が輸出総額の約31.2%、自動車が約12.1%を占めるなど、工業製品が国の経済を支える主要な輸出品となっています。
問2	<b>答え 1</b> 日本と比較して1か月あたりの平均賃金が極めて低く、安価で豊富な労働力を活用できたこと。	東南アジアの国々では、日本の10分の1程度という低い平均賃金を背景に、生産コストを抑えたい日本企業の進出が激増しました。これにより、従来の資源輸出に頼る構造から、機械類などの高度な製造業を中心とした工業化が達成されました。この現象は「世界の工場」としての役割が周辺国へ広がった結果といえます。
問3	<b>答え 1</b> 英語が堪能な人材が多いため、アメリカなどの企業からソフトウェア開発などのIT業務を受託しやすくなった。	インドは歴史的背景から英語が共通語として普及しており、さらに数学や理数系の教育に力を入れているため、IT分野で活躍する優秀な人材が豊富です。アメリカなどとの時差を利用した24時間体制のソフトウェア開発や、英語でのコミュニケーションが必須となるコールセンター業務などのアウトソーシング（業務委託）を請け負うことで、急速な経済成長を遂げました。
問4	<b>答え 1</b> 人口の抑制には成功したが、現在は急速な少子高齢化が進み、将来の労働力不足が課題となっている。	中国では爆発的な人口増加が経済発展の妨げになると考え、1組の夫婦につき子どもを1人までに制限する「一人っ子政策」を長年実施しました。この政策により人口抑制には一定の成果がありましたが、同時に極端な少子高齢化を招く結果となり、2015年に廃止されました。現在は経済を支える労働力の減少が深刻な社会問題となっています。
問5	<b>答え 1</b> 原油（石油）	ロシア、サウジアラビア、アメリカ合衆国は世界有数の産出量を誇る三大産出国です。かつては石炭が世界の主要なエネルギー源でしたが、1960年代以降、液体で輸送や貯蔵が容易なこの資源へと主役が交代しました。この変化をエネルギー革命と呼びます。
問6	<b>答え 1</b> 東南アジア	タイやベトナムはアジア大陸の南東部に位置し、インドネシアは数多くの島々で構成される国家です。これらの国々は、地域の経済発展や安定を目指し、ASEAN（東南アジア諸国連合）を組織して協力関係を築いています。
問7	<b>答え 1</b> トルコ	トルコは北緯36度から42度付近に位置しており、日本の本州とほぼ同じ緯度帯にある西アジアの国です。ボスポラス海峡を境にアジア側とヨーロッパ側にまたがっており、歴史的にも東西の交通・文化が交差する重要な地点となっています。エジプトはより低緯度の北アフリカ、アメリカ合衆国は北アメリカ、オーストラリアは南半球に位置するため、条件に合致しません。
問8	<b>答え 1</b> 油田から産出される原油や石油製品の輸出で得た多額の利益を背景に、ドバイのように砂漠の中に高層ビルが立ち並ぶ都市を建設した。	西アジアの国々は、降水量が極めて少ない乾燥帯に位置していますが、20世紀半ば以降、油田の発見によって経済が激変しました。輸出によって得られた膨大な資金（オイルマネー）は、道路、港湾、海水の淡水化施設などのインフラ整備だけでなく、アラブ首長国連邦のドバイに見られるような、砂漠の中の近代的な高層ビル群や世界的な観光拠点の開発に投入されました。これにより、伝統的な遊牧生活から、高度な都市生活へと社会構造が大きく変化しました。